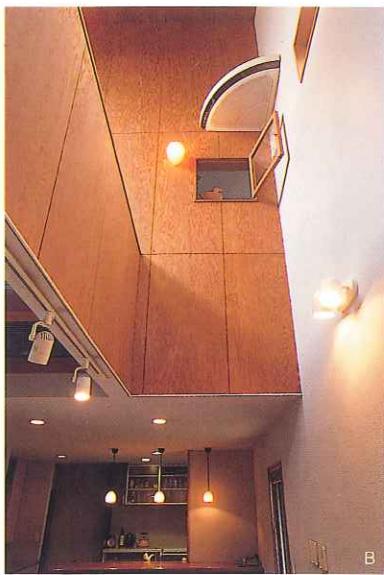


工務店と建てた家

# \*02

(有)宝建設  
S邸 神奈川県・横浜市  
本体工事費 税込4,200万円  
○建坪18.78坪 延べ床53.29坪  
○家族4人





- A 家族の団らんにも客人を迎えるのにも活躍するリビング。庭でバーベキューをするときには窓を開け放し、空間をつなげる  
B リビング上の吹き抜けは、光と風の通り道であるとともに、子ども部屋とリビングをつなぐためのものもある  
C 螺旋階段で2階へ上がって顔を上げたときに目に入ってくる光景。そこにあるいくつもの四角が、視覚的刺激により人の心のスイッチを切り替える



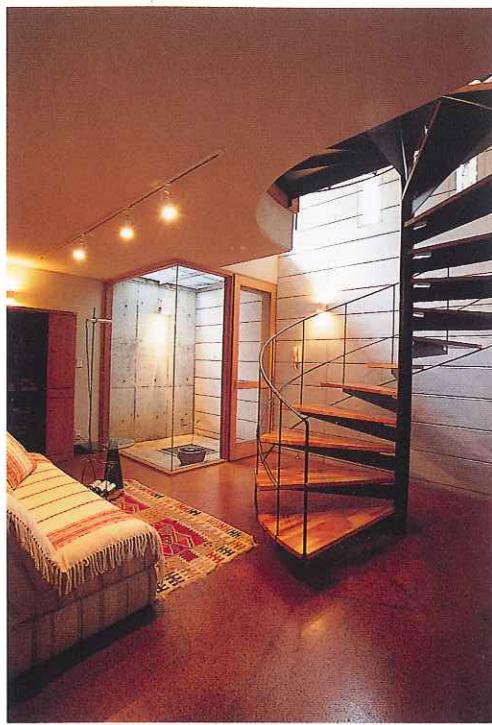
## 自然のなかにしつくりとけ込む、 バランスのいい黄金比でできた家

広がりのある居間を確保するためにつくった中庭。

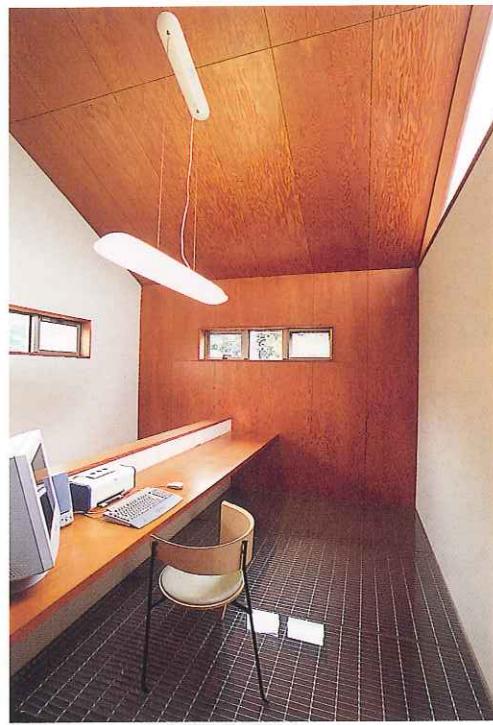
そして居間の吹き抜けと、上部のガラス床でできたパソコンルームによって空間を縦につないだ工夫。

黄金比でできたその美しい家のなかには、ロフト、インナーバルコニー、そしてドライエリア…。

かくれんぼ場所になりそうな、不思議な空間の多さに家づくりのたのしさを見つけた。



ドライエリアのある地下。玄関脇にある明かり窓からやわらかな日射しがもれる。



1階のリビング吹き抜けと縦のつながりをもたすために、ガラス床を採用したパソコンルーム



螺旋階段自体が、オブジェのような役割を果たす。セメント系の質感と木とスチール。異素材の組み合わせの妙

- A. 3階から小さなロフトに上がるための階段。ロフトにはたたみが敷かれた不思議な空間がある
- B. 2階にある、ふたつの子ども部屋からつながっているロフト。屋根裏のようこの部屋はいうまでもなく秘密基地
- C. グレーチングの床から玄関へと光をおとすインテラース。住まいの緩衝地帯ともいえるこのスペースがゆとりをもたらす



木製のスリットとセメント中空板のコントラストが印象的な外観のS邸。家のコルビジエも採用した黄金比をそなえ、プロポーションに用いたため、名づけて「黄金比の家」。

見えそうで見えないように、ほどよく外部を遮断する目隠しフェンス。そ

の内へ一歩はいると得も言わない安堵感をおぼえる。テラスが広がるそこは、エントランス・アプローチであり、同時にリビングと一体化する庭でもある。建ぺい率40%・容積率80%という厳しい条件の中で敷地を最大限に活かしたい、プライバシーを守りつつ広が

形だ。そしてその形態は、人が交流し、人が自然と心地よくながる場を生んだ。

大開口で庭とつながるリビングには、米マツを使いぬくもりある空間に。長さ3mの座卓や抜群の収納力をもつ造作家具も、米マツで揃えた。「殺風景ないい家はイヤ」と思っていた奥さんも「リゾートのコテージにでもいるような気分」と大満足。冬も床暖房で心地よい床座の生活を楽しんでいます。

また、広がりを演出するために、縦方向の空間のつながりにも配慮し、家中に光がゆきわたり明るく穏やかな雰囲気を醸し出す仕掛けとしている。たとえば、リビングと子ども部屋をつな

り感のある家にしたい。そんな住まいを求める結果の、外へ閉じて内へ開く形だ。そしてその形態は、人が交流し、人が自然と心地よくながる場を生んだ。

大開口で庭とつながるリビングには、米マツを使いぬくもりある空間に。長さ3mの座卓や抜群の収納力をもつ造作家具も、米マツで揃えた。「殺風景ないい家はイヤ」と思っていた奥さんも「リゾートのコテージにでもいるような気分」と大満足。冬も床暖房で心地よい床座の生活を楽しんでいます。

また、広がりを演出するために、縦方向の空間のつながりにも配慮し、家中に光がゆきわたり明るく穏やかな雰囲気を醸し出す仕掛けとしている。たとえば、リビングと子ども部屋をつな

り吹き抜け。あるいは地階ワインセラーから2階まで延びる螺旋階段。吹き抜けや螺旋階段など、空間をつなぐ装飾そのものが遊び心の溢れた美しい室礼となっているのもS邸の魅力だ。ギヤラリーが点在するような空間に導かれ上の階へのぼっていくと、最後は子どもたちの隠れ家でもあるロフトにたどり着く。夜は、星を眺める絶好の場所である。



18坪という坪でこれだけ豊かな空間を得るためにには設計の工夫が重要。ダイニングのスペースを省略したり、トイレはひとつだけ、という割り切りもしていることを忘れてはならない。設計事務所出身のスタッフばかりと、いう宝建設のノウハウが活かされた、家族の暮らしを大切にするSさんらしい家である。

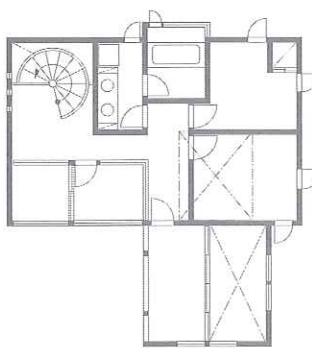


## 黄金比について

自然界にも多く存在し、オウム貝、ひまわり種、松ぼっくり、土筆(つくし)などに見られる黄金比。1:1.6という比率はそのバランスの美しさで、何世紀にもわたって「神祕的な神の比例」といわれ人々の美的感覚を魅了してきた。この黄金比で長さを分けることを黄金分割といい、ギリシアのパルテノン、古代ローマの凱旋門などをはじめ、絵画や彫刻、そして建築などさまざまな分野で取り入れられてきた。現在でもはがきや新書版の本に、その美しい比率が生かされている。



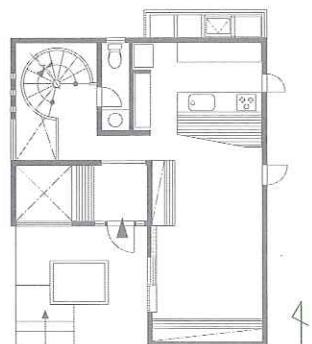
- D. スリット窓が美しいアクセントに。インナーガーデンから目の前の公園を楽しむため、視界を邪魔しないデザインに
- E. 外には閉じ、内には開くことでプライバシーを守りつつ広がりのある住空間を実現する



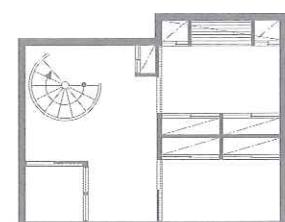
2nd Floor.



Loft.



1st Floor.



B1 Floor.

- DATA**
- 建築規模/木造地上2階建て+RC造地下1階
  - 構造/工法/木造軸組工法+RC造
  - 素材/無垢材(米マツ、チーク)、珪藻土、健康系塗料、構造材(米マツ)
  - 設計 施工/(有)宝建設 tel:044-877-3861
  - 竣工期間/設計6ヶ月 工事8ヶ月
  - 工務店についての詳しいデータはP183へ
  - writer yuko sogame/photograph・takahisa ide